

刊夕 塔城新聞 行發日一月八

擔がれた話

平川大津間道中コント 酒井孤村

何んといふ静かな此朝の... 景色でしらす、水平線の...

平あけび會俳筵

七月二十八日あけび主宰松村巨濂先

海外の沙勢の照りや稍難き... 夏風や野川溢れをひるひひく...

四疊半の童貞

鬼河原狂一

彼は四十五才であるが、... 一度だつて結婚したこと...

あの娘

千代菊

「許してねえ」... ボッリとした銀の玉...

越路

西方てつ子

旅路来て身づかれし... 此の夕野の風呂に...

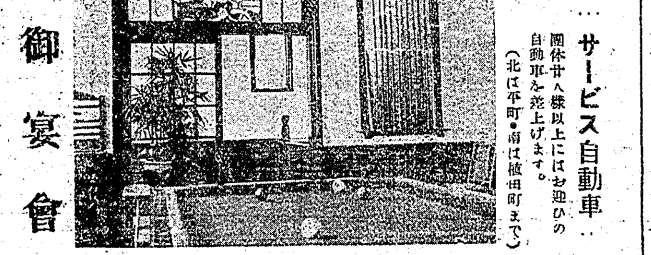
高橋是清

小 松浦泉三郎作

「何だ？」... 寝轉んでた和喜次が...



抱妓達は、娘さんの人... 知つてゐるだけに、...



御宴會... 毎度格別の御座います...

胃腸性病性 院醫科性腸胃村松

關影商店平支店

高久病院

福島縣立代用精神病院

お醤油は... ヤマフル

木村外科醫院

安齊醫院

